

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市北部リハビリテーションセンター	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 麻生区内複合福祉施設共同事業体 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	百合丘日中活動センター 就労移行(定員20名) 契約者 21名、就労継続B(定員20名) 契約者 26名(平成28年3月31日現在) 生活訓練(定員 6名) 契約者 9名、生活介護(定員 10名) 契約者 19名 百合丘障害者センター(在宅支援室) 相談事業 305件、在宅リハ評価訪問 86件 百合丘地域生活支援センター 相談支援活動件数 3,214件、地域活動支援センター登録者数 303名																																																								
収支実績	<p>日中活動センター、障害者センター</p> <table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支差額</td> </tr> <tr> <td>経常活動 218,954千円</td> <td>経常活動 218,688千円</td> <td>-1,519千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 87,596千円</td> <td>人件費 145,169千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 14,634千円</td> <td>事務費 28,520千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料 73,367千円</td> <td>事業費 18,399千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金 0千円</td> <td>拠点区分間繰入金 26,600千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 43,357千円</td> <td>その他 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 218,954千円</td> <td>施設整備等 1,784千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 220,473千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p> <p>地域生活支援センター</p> <table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支差額</td> </tr> <tr> <td>経常活動 32,477千円</td> <td>経常活動 31,397千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 312千円</td> <td>人件費 26,535千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 0千円</td> <td>事務費 3889千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等 30,803千円</td> <td>事業費 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金 0千円</td> <td>拠点区分間繰入金 973千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 1362千円</td> <td>その他 0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 32,477千円</td> <td>施設整備等 1080千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 32,477千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>			収入	支出	収支差額	経常活動 218,954千円	経常活動 218,688千円	-1,519千円	給付費 87,596千円	人件費 145,169千円		川崎市単独扶助 14,634千円	事務費 28,520千円		指定管理委託料 73,367千円	事業費 18,399千円		拠点区分間繰入金 0千円	拠点区分間繰入金 26,600千円		その他 43,357千円	その他 0千円		合計 218,954千円	施設整備等 1,784千円			合計 220,473千円		収入	支出	収支差額	経常活動 32,477千円	経常活動 31,397千円	0千円	給付費 312千円	人件費 26,535千円		川崎市単独扶助 0千円	事務費 3889千円		指定管理委託料等 30,803千円	事業費 0千円		拠点区分間繰入金 0千円	拠点区分間繰入金 973千円		その他 1362千円	その他 0千円		合計 32,477千円	施設整備等 1080千円			合計 32,477千円	
収入	支出	収支差額																																																							
経常活動 218,954千円	経常活動 218,688千円	-1,519千円																																																							
給付費 87,596千円	人件費 145,169千円																																																								
川崎市単独扶助 14,634千円	事務費 28,520千円																																																								
指定管理委託料 73,367千円	事業費 18,399千円																																																								
拠点区分間繰入金 0千円	拠点区分間繰入金 26,600千円																																																								
その他 43,357千円	その他 0千円																																																								
合計 218,954千円	施設整備等 1,784千円																																																								
	合計 220,473千円																																																								
収入	支出	収支差額																																																							
経常活動 32,477千円	経常活動 31,397千円	0千円																																																							
給付費 312千円	人件費 26,535千円																																																								
川崎市単独扶助 0千円	事務費 3889千円																																																								
指定管理委託料等 30,803千円	事業費 0千円																																																								
拠点区分間繰入金 0千円	拠点区分間繰入金 973千円																																																								
その他 1362千円	その他 0千円																																																								
合計 32,477千円	施設整備等 1080千円																																																								
	合計 32,477千円																																																								
サービス向上の取組	<p>・日中活動センターでは、就労系事業の作業室にOTが入り利用者の作業を实地に観察することによって、専門的な視点で個別プログラム等の作成に関わり、それぞれのニーズに合わせた支援を行っている。また、ハローワークや就労援助センターとの連携を強化した結果、就労移行支援で13名が就労・復職した。</p> <p>・障害者センターでは、高次脳機能障害の当事者や家族に対する専門的な支援に加え、従来から行ってきた事業者間のネットワーク作りについて介護支援事業所や病院等を個別に回るなど、研修の周知を丁寧に進めた結果、ケアマネジャーや地域支援者等との繋がりが強まった。</p>																																																								

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・施設内の全事業所はもとより、医療機関を含めて他機関との緊密なネットワークを結び各事業所それぞれが専門性を発揮できる体制をとることによって、全体として利用者や家族に対する総合的なサービスを提供している。また、障害のある方が住み慣れた地域での暮らしを継続できる仕組みの構築を目指して、医療・福祉系の学校からの実習や見学者・利用体験の実習を積極的に受け入れ、地域リハビリテーションの拠点としての役割を果たしている。</p> <p>・自立訓練卒業生の会に対するアフターフォロー、高次脳機能障害者と家族に対する支援、利用者自身を中心となって企画・運営する活動やミーティングへの支援等「当事者主体」の方針に基づいた事業運営となっている。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>・支出については、開設から8年が経過し修繕や車両整備費の支出が増えており、日中活動センター・障害者センターでは当初の見込みを上回ったものの、地域生活支援センターでは人件費の減などで当初の見込みを下回り、全体では予算内で執行した。</p> <p>・収入については、概ね事業執行に必要な収入は確保することができているが、施設全体では見込をやや下回った。また、収支はマイナスであった。</p> <p>・法人の経理規程に則り適正に金銭管理を行った。また、地域生活支援センターにおいては、税理士事務所による指導監査を毎月実施した。</p>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか 利用者への支援を適時かつ十分に行っているか	10	4	8
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者センターでは、障害福祉関係者に対する専門的な相談に応じるだけでなく、直接訪れる当事者や家族また病院等からの一次相談にも継続的に対応しており、市民に知られ頼られる存在となっている。 ・地域生活支援センターでは、精神障害のある方に対する各種相談を来所に加え電話や訪問でも実施し、また役所の窓口への同行等、ニーズに則した支援を行うことにより地域に根差した施設として信頼されており、相談件数は増加し続けている。 ・日中活動センターでは、サービス向上・改善に向けた取組として利用者満足度調査を実施した。また地域生活支援センターでは、苦情解決支援事業における第三者委員が来所し、利用者ミーティング等への参加を通じて苦情解決の取組に関する情報交換を行った。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	5	5
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援センターでは、ピアサポーターとしての一定の経験を経た当事者が「ピアスタッフ(時給制)」として、施設内での利用者サポートや見学者の案内等に当たっている。 ・各種研修を受講して支援スキルの向上を行っている一方で、研修講師や当事者・家族向けの勉強会も積極的に行い、地域全体の支援スキル向上に貢献している。地域生活支援センターでは、外部研修において職員と利用者とともに講師として登壇している。 ・事業所内・法人内で事故やヒヤリハットの報告と検証を行い、再発防止に向けて職員に周知している。その他関係法令の遵守など、適切な管理体制を取っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内すべての事業所の一体的な運営を行うため「運営調整部会」を設置し、業務の実施方法や情報交換を行う体制が整備されている。 ・建物管理関係の清掃・警備・昇降機の保守等については、委託にて業務実施がされており、適切な管理が行われている。なお、施設内の日常清掃業務を市内の就労継続支援B型事業所に委託している。 				

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:・C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・各事業において、手帳の有無等に関わらず地域に暮らすすべての対象者に対して、障害特性に配慮したプログラムと高い支援技術を持ってサービスを提供している。その他支援方法が確立されていない障害にも率先して取り組み、地域リハビリテーションシステム構築のためのモデル施設としての役割を担っている。
- ・障害福祉サービスの提供のみにとどまらず、利用を終了した方へのフォローや利用者自身がサービスの提供側として活動できる仕組みの構築、地域住民への障害理解の促進に取り組んでおり、障害の有無にかかわらず、暮らしている地域で自分の役割を發揮・持続できる環境の実現に寄与している。
- ・支援の中で獲得した知識・技術を研修講師や学会発表の形で関係者に還元し、今年度は中部リハビリテーションセンターの開設準備(実習受け入れ、川崎市地域リハビリテーション構想、役割の共有化等)に協力した。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

--